

別表1 保健学科 専門教育科目の種類・単位数・授業時間数

年次	科目番号	授業科目名	単位	週時間	受講年次	クォーター
一 年 次	保Q 101	生命倫理学	1	(1-0)	1	1
	保Q 102	保健福祉政策論	2	(2-0)	1	1
	保Q 103	シミュレーション演習	2	(2-0)	1	1
	保Q 111	看護学概論	2	(2-0)	1	2
	保Q 112	保健関係法規	1	(1-0)	1	2
	保Q 114	早期体験演習	1	(1-0)	1	2
	保Q 121	生化学	2	(2-0)	1	3
	保Q 122	栄養学	2	(2-0)	1	3
	保Q 371	看護英語文献講読	1	(1-0)	1~4	3
	保Q 123	解剖学・組織学	2	(1-3)	1	3・4
	保Q 124	生理学	2	(1-3)	1	3・4
	保Q 131	微生物学	2	(1-3)	1	4
	保Q 133	生活援助看護技術 I	3	(3-0)	1	4
	保Q 134	生活援助看護技術実習 I	1	(0-3)	1	後期(集中) 後期(集中)
保Q 135	地域包括ケア実習 I	1	(0-3)	1	後期(集中) 後期(集中)	
二 年 次	保Q 132	地域看護学	2	(2-0)	2	1
	保Q 201	疫学	2	(2-0)	2	1
	保Q 211	分析化学	2	(1-3)	2	1
	保Q 212	免疫学	1	(1-0)	2	1
	保Q 216	臨床検査総論	3	(2-3)	2	1
	保Q 234	保健統計学	2	(2-0)	2	1
	保Q 202	薬理学	2	(1-3)	2	1・2
	保Q 204	生活援助看護技術 II	3	(3-0)	2	1・2
	保Q 205	病理学	3	(2-3)	2	1・2
	保Q 221	高齢期看護学	2	(2-0)	2	2
	保Q 222	母性看護学	2	(2-0)	2	2
	保Q 224	フィジカルアセスメント	2	(2-0)	2	2
	保Q 231	生化学実習	1	(0-3)	2	2
	保Q 233	臨床検査管理・機器総論	2	(2-0)	2	2
	保Q 235	医動物学	1	(1-0)	2	2
	保Q 236	医動物学実習	1	(0-3)	2	2
	保Q 238	臨床血液学	3	(2-3)	2	2
	保Q 277	遺伝看護学	1	(1-0)	2	2
	保Q 241	生活援助看護技術実習 II	2	(0-6)	2	3
	保Q 243	高齢期看護実習 I	1	(0-3)	2	3
	保Q 244	地域包括ケア実習 II	1	(0-3)	2	3
	保Q 255	生化学検査学	1	(1-0)	2	3
	保Q 256	総合検査学 I	1	(1-0)	2	3
	保Q 252	医用電子工学	3	(2-2)	2	3・4
	保Q 237	食品衛生学	2	(2-0)	2・3	4
	保Q 262	症候病態論	2	(2-0)	2	4
保Q 263	成人看護学	2	(2-0)	2	4	
保Q 264	精神看護学	2	(2-0)	2	4	
保Q 265	小児看護学	2	(2-0)	2	4	
保Q 266	国際環境保健学	1	(1-0)	2	4	
保Q 271	病態生理学	2	(2-0)	2	4	
保Q 272	臨床化学 I	3	(2-3)	2	4	
保Q 273	臨床心理学	2	(2-0)	2	4	
保Q 275	分子生物学入門	1	(1-0)	2	4	
保Q 276	公衆衛生看護学概論	2	(2-0)	2	4	
保Q 278	島嶼地域看護論	1	(1-0)	2	4	
保Q 314	ウイメンズヘルス	2	(2-0)	2	4	
三 年 次	保Q 302	母性看護実践学	2	(2-0)	3	1
	保Q 303	緩和ケア論	1	(1-0)	3	1
	保Q 304	看護システムと国際看護	1	(1-0)	3	1
	保Q 311	公衆衛生看護実践学 I	2	(2-0)	3	1
	保Q 312	助産の理論	2	(2-0)	3	1
	保Q 315	養護概説	2	(2-0)	3	1
	保Q 320	臨床免疫学	3	(2-3)	3	1

年次	科目番号	授業科目名	単位	週時間	受講年次	クォーター
三 年 次	保Q 323	病理組織細胞学	3	(2-3)	3	1
	保Q 325	臨床微生物学	3	(2-3)	3	1
	保Q 333	救急・災害援助	1	(1-0)	3	1
	保Q 334	周産期学	2	(2-0)	3	1
	保Q 214	地域アセスメント実習	1	(0-3)	3	1・2
	保Q 215	地域アセスメント	1	(1-0)	3	1・2
	保Q 321	臨床生理学 I	2	(1-3)	3	1・2
	保Q 326	技術卒業研究 I	2	(0-6)	3	1・2
	保Q 331	感染看護学	1	(1-0)	3・4	1又は2
	保Q 305	高齢期看護実践学	2	(2-0)	3	2
	保Q 306	在宅看護実践学	2	(2-0)	3	3
	保Q 307	在宅看護学	2	(2-0)	3	2
	保Q 317	健康教育学	2	(2-0)	3	2
	保Q 318	助産診断・技術学 I	3	(3-0)	3	2
	保Q 322	臨床病態学総論	1	(1-0)	3	2
	保Q 327	臨床化学 II	2	(2-0)	3	2
	保Q 328	臨床生理学 II	3	(3-0)	3	2
	保Q 329	遺伝子診断技術学	2	(1-2)	3	2
	保Q 332	がん看護論	1	(1-0)	3	2
	保Q 335	学校保健学	2	(2-0)	3	2
	保Q 336	保健技術学実習 I	1	(0-3)	3	2
	保Q 353	助産管理	1	(1-0)	3	2
	保Q 319	ヘルスカウンセリング論	2	(2-0)	3	3
	保Q 341	小児看護実践学	2	(2-0)	3	3
	保Q 342	慢性期看護実践学	2	(2-0)	3	3
	保Q 343	精神看護実践学	2	(2-0)	3	3
	保Q 344	急性期看護実践学	2	(2-0)	3	3
	保Q 351	公衆衛生看護実践学 II	2	(2-0)	3	3
	保Q 352	助産診断・技術学 II	3	(3-0)	3	3
	保Q 354	地域母子保健	1	(1-0)	3	3
	保Q 345	卒業研究 I	1	(0-3)	3	3・4
	保Q 363	保健技術学実習 II	11	(0-33)	3	3・4
	保Q 346	高齢期看護実習 II	2	(0-6)	3	4
	保Q 347	母性看護実習	2	(0-6)	3	4
	保Q 348	在宅看護実習	2	(0-6)	3	4
	保Q 362	技術卒業研究 II	2	(0-6)	3	4
	保Q 373	病理特殊検査法	2	(2-0)	3	4
保Q 374	画像診断学	2	(2-0)	3	4	
四 年 次	保Q 446	公衆衛生看護管理 I	1	(1-0)	4	1
	保Q 412	小児看護実習	2	(0-6)	4	1・2
	保Q 413	慢性期看護実習	2	(0-6)	4	1・2
	保Q 414	精神看護実習	2	(0-6)	4	1・2
	保Q 415	急性期看護実習	2	(0-6)	4	1・2
	保Q 416	成人総合看護実習	1	(0-3)	4	1・2
	保Q 403	総合検査学 II	2	(2-0)	4	2
	保Q 404	遺伝子診断応用学	1	(1-0)	4	2
	保Q 422	公衆衛生看護実習 I	4	(0-12)	4	前期(集中) 前期(集中) 前期(集中) 前期(集中)
	保Q 423	助産実習 I	2	(0-6)	4	前期(集中) 前期(集中)
	保Q 424	養護実践演習	1	(1-0)	4	前期(集中) 前期(集中)
	保Q 425	養護実習	4	4週間	4	前期(集中) 前期(集中)
	保Q 426	助産診断・技術学 III	4	(4-0)	4	前期(集中) 前期(集中)
	保Q 432	看護統合実習	2	(0-6)	4	3
	保Q 442	公衆衛生看護実習 II	1	(0-3)	4	3
	保Q 447	公衆衛生看護管理 II	1	(1-0)	4	3
	保Q 445	教職実践演習(養護教諭)	2	(2-0)	4	3・4
保Q 448	助産実習 II	6	(0-18)	4	3・4	
保Q 444	助産統合実習	1	(0-3)	4	4	
保Q 401	技術卒業研究 III	4	(0-12)	4	1~4	
保Q 431	卒業研究 II	2	(0-6)	4	1~4	

※集中講義は、夏季休業又は春季休業中の開講を含む。

別表2

保健学科 専門教育科目の履修内容

必修・ 選択の別 看 検	科 番	目 号	授 業 科 目 名	単 位	週 時 間	受 講 年 次	クォーター	授 業 内 容
必	必	保Q 101	生命倫理学	1	(1-0)	1	1	保健医療における生と死の倫理的問題について考える。
必	必	保Q 102	保健福祉政策論	2	(2-0)	1	1	保健・医療・福祉の基本理念と制度を理解し、関係職種相互の連携について学ぶ。行政組織を理解し、保健医療福祉計画の企画および評価について実践的に学び、保健医療サービスの提供に関する制度的しくみを体系的に学ぶ。健康に係る政策形成過程を事例を用いて学ぶ。
選	必	保Q 103	シミュレーション演習	2	(2-0)	1	1	医療現場で遭遇する様々な状況をシミュレーションで再現して、実際に患者や家族と関わる医療者としての知識・技術・態度を学習する。患者や家族との良好な関係を築くためのコミュニケーション技術や、患者や患者の置かれている環境について理解するための五感を使った医療者の感性を養うため、各演習でシミュレーションして患者や家族とどのように対話し、対応するのかをともに考える。
必	選	保Q 111	看護学概論	2	(2-0)	1	2	看護の歴史、看護学概念、看護の対象である人間・健康・環境について理解する。また、看護実践の理論的枠組みについて事例を通して学ぶ。
選	必	保Q 112	保健関係法規	1	(1-0)	1	2	保健医療福祉に関する基本法令、関係法令について学ぶ。
選	選	保Q 114	早期体験演習	1	(1-0)	1	2	看護職、臨床検査技師等のゲストスピーカーの講話、グループ討議、病院等における看護師または臨床検査技師等への同行(見学)実習を通して、保健医療施設(特定機能病院、地域の病院等)の役割機能、看護職、臨床検査技師等の職種、業務内容の理解を深める。また、将来の進路決定に向けて、自らの医療職に対する適性について考え、今後の学習へのモチベーションを高める。
必	必	保Q 121	生化学	2	(2-0)	1	3	生命現象を引き起こす目に見えない物質とその化学反応の基礎的知識を学ぶ。生体物質の構成とその代謝、代謝異常、様々な疾患との関連について、細胞レベル分子レベルで学習する。
必	必	保Q 122	栄養学	2	(2-0)	1	3	食物に含まれる栄養素の種類と役割、その体内代謝とエネルギー代謝、栄養状態の評価について学ぶ。さらに、ライフステージ別の栄養、疾患別食事療法と栄養補給法について学ぶ。
必	必	保Q 123	解剖学・組織学	2	(1-3)	1	3・4	人体の肉眼的構造と微細構造について基本的な事柄を講義で学ぶ。重要な器官については系統解剖実習と顕微鏡実習により理解を深める。
必	必	保Q 124	生理学	2	(1-3)	1	3・4	生理学は、生命現象のメカニズム、調節機構を理解する学問である。人体に見られる種々の生命現象のメカニズムについて、個々のシステムの働きと身体全体としての調節の働きと両面から講義する。基本的な検査技術を用いた実習を行なう。実習の結果をまとめレポートを作成する。
必	必	保Q 131	微生物学	2	(1-3)	1	4	疾病に関連する細菌、ウイルス、真菌などの分類、性質、病原性、薬剤反応性などについて基本的知識を学ぶ。
必	選	保Q 132	地域看護学	2	(2-0)	2	1	地域で生活する人びとに対する看護の基本を学び、公衆衛生看護(行政)、在宅看護、産業看護、学校看護の基本的な理念・目標・技術を学ぶ。また、母子から高齢者までの住民の多様なニーズに対応できる地域の社会資源、関係機関について学び、地域看護活動を展開するための基本的知識、技術を学ぶ。
必		保Q 133	生活援助看護技術 I	3	(3-0)	1	4	看護に共通な基本技術、日常生活援助看護技術、コミュニケーション技術について学ぶ。
必		保Q 134	生活援助看護技術実習 I	1	(0-3)	1	後期 (集中)	対象者を全人的に理解し、日常生活援助技術、コミュニケーション技術を実践的に学ぶ。

別表2

保健学科 専門教育科目の履修内容

必修・ 選択の別 看 検	科 番	目 号	授 業 科 目 名	単 位	週 時 間	受 講 年 次	クォーター	授 業 内 容	
必	保Q	135	地域包括ケア実習 I	1	(0-3)	1	後期 (集中)	地域で生活している小児から高齢者及び心身に疾病・障害をもっている人々との関わりを体験し、他者への関心と理解を深め、また、人々の生活の場である地域や人々が支えあって生活する意義について学ぶ。	
必	必	保Q	201	疫学	2	(2-0)	2	1	人間集団の中で出現する健康関連事象の頻度と分布およびそれらに影響を与える要因を包括的に考究し、健康増進や疾病予防のあり方について学ぶ。
必	必	保Q	202	薬理学	2	(1-3)	2	1・2	医薬品の薬理作用、副作用及び臨床応用
必		保Q	204	生活援助看護技術 II	3	(3-0)	2	1・2	診療・検査に伴う看護技術、指導技術、フィジカルアセスメント、事例を用いて看護過程の展開方法について学ぶ。
選	必	保Q	205	病理学	3	(2-3)	2	1・2	病理学は病気の本質を明らかにする学問である。病気の原因とそれによる病的変化が発生するメカニズムを理解する。さらに病気により生じた臓器・組織の構造上、機能上の変化を学ぶ。
選	必	保Q	211	分析化学	2	(1-3)	2	1	生化学実習や臨床化学につながる化学分析の理論を学習し、器具・機器による基本的実験方法や得られたデータの解析方法を学ぶ。
必	必	保Q	212	免疫学	1	(1-0)	2	1	細菌やウイルスなどの微生物が体内に侵入することによって引き起こされる免疫反応について、これに関わる細胞群とサイトカインなどの液性因子が織りなす生体反応として捉え、さらに過剰な免疫反応（アレルギー）と免疫不全状態についてもこれら生体反応の異常として理解できるように講義する。
選	選	保Q	214	地域アセスメント実習	1	(0-3)	3	1・2	地域社会の個人、家族、集団の健康の保持増進、疾病の予防、回復および地域生活への適応を援助するために人びとが生活する地域について学ぶ。「地域で生活する」人びとの日常を理解し、看護の対象者理解に役立てる。
選	選	保Q	215	地域アセスメント	1	(1-0)	3	1・2	地域に顕在、潜在する健康課題を捉えるための地域のアセスメントに関する理論、技術を学ぶ。
選	必	保Q	216	臨床検査総論	3	(2-3)	2	1	臨床検査に必要な知識、技術及び尿、便、血液などの一般検査について実習を行い、臨床的意義を学習する。
必	選	保Q	221	高齢期看護学	2	(2-0)	2	2	ライフサイクルからみた高齢（老年）期の特徴と加齢に伴う生活の変化、健康障害の特徴について理解し、健康の保持増進、自立した生活を支援するための高齢者看護の役割について学ぶ。
必		保Q	222	母性看護学	2	(2-0)	2	2	母性看護の対象となる人々を理解するために必要な基本概念、看護援助に必要なリプロヘルス、人生移行などの基本理論について学ぶ。
必		保Q	224	フィジカルアセスメント	2	(2-0)	2	2	医学的知識に裏づけられた、フィジカルアセスメントの知識・技術を習得する。事例を用いた演習を行い、実践的なアセスメント力を養う。
選	必	保Q	231	生化学実習	1	(0-3)	2	2	生体を構成する様々な物質の性質や機能及び生化学実験の原理を、定性・定量法、分離法など実験実習を通して学ぶ。
選	必	保Q	233	臨床検査管理・機器総論	2	(2-0)	2	2	検査技術管理(検体採取法や検体管理、成績の精度管理など)を含む検査管理総論と検査機器の保守管理を含む検査機器総論を学習する。
選	選	保Q	234	保健統計学	2	(2-0)	2	1	人間集団を対象とした健康関連情報の種類、分布、収集方法、統計的整理、分析、評価など、統計学の基礎について学ぶ。
選	必	保Q	235	医動物学	1	(1-0)	2	2	人間に病害を与える自然界の動物の形態、生態（感染経路、病害）、予防法について学習する。

別表2

保健学科 専門教育科目の履修内容

必修・ 選択の別	科 番	目 号	授 業 科 目 名	単 位	週 時 間	受 講 年 次	クォーター	授 業 内 容	
									看
	必	保Q 236	医動物学実習	1	(0-3)	2	2	医動物学の講義と平行し、重要事項について実習・見学を通して検査・予防方法などを習得する。	
	選	必	保Q 237	食品衛生学	2	(2-0)	2・3	4	食品衛生関連法規、細菌性を含む食中毒、食品添加物、遺伝子組換え食品、食品汚染の問題、保健機能食品を含めた健康食品等について学ぶことで食の安全管理について理解する。
	選	必	保Q 238	臨床血液学	3	(2-3)	2	2	臨床検査に必要な血液学および血液疾患について学習する。
	必		保Q 241	生活援助看護技術実習Ⅱ	2	(0-6)	2	3	生活援助看護技術、診療援助看護技術の実践を通して看護過程の展開方法について学ぶ。
	必		保Q 243	高齢期看護実習Ⅰ	1	(0-3)	2	3	介護老人福祉施設で生活している高齢者の生活場面をとおして施設における高齢者看護の実際について学ぶ。
	必		保Q 244	地域包括ケア実習Ⅱ	1	(0-3)	2	3	入院治療、症状が安定した人々およびその家族が安心して地域で生活できるよう、在宅復帰支援について理解を深める。また、在宅復帰支援における関連機関、職種との連携の在り方、看護の役割について考察できる。
	選	必	保Q 252	医用電子工学	3	(2-2)	2	3・4	臨床検査及び医療に応用されている電子工学の理論と医用機器について学習する。
	選	必	保Q 255	生化学検査学	1	(1-0)	2	3	生体の基本構成成分の性質、機能を理解し、各成分を同定するための様々な実験方法や試薬取扱いについて学習する。
	選	必	保Q 256	総合検査学Ⅰ	1	(1-0)	2	3	臨床検査と疾患との関連、予防医学と健康診断、検査の信頼性と認証制度について学習する。
	必	必	保Q 262	症候病態論	2	(2-0)	2	4	主な疾患の症候、病態、治療の基本を学習する。
	必	選	保Q 263	成人看護学	2	(2-0)	2	4	生活者、発達段階、健康のレベルの視点から成人期である対象を捉え、ヘルスプロモーションから疾病、障害を有する人々への看護を展開する上での基礎的知識や看護理論について学ぶ。
	必	選	保Q 264	精神看護学	2	(2-0)	2	4	心や性の発達、家庭、学校、職場、地域における精神保健と援助の概要、精神障害の基礎知識について学習する。
	必		保Q 265	小児看護学	2	(2-0)	2	4	小児の成長・発達及び生活と社会・健康問題について理解し、小児看護の基本的理論と生活援助技術について学ぶ。
	必	必	保Q 266	国際環境保健学	1	(1-0)	2	4	自然生態系と人間、有害環境因子、地球温暖化と環境・健康問題、感染症について国際的な視点で講義する。
	選	必	保Q 271	病態生理学	2	(2-0)	2	4	頻度の高い患者の訴えを取り上げ、病態の成立機序を学習する。
		必	保Q 272	臨床化学Ⅰ	3	(2-3)	2	4	臨床化学検査における様々な生体内物質の定量測定法の原理や試薬取扱い、検体取扱い方法、得られる結果と病態との関連や臨床的意義について、講義と実習を通して学習する。主に化学反応と光学的検出法を組み合わせた検体検査の実習を行い、その検査手技を修得し、結果の考察や問題解決に取り組む。
	選	選	保Q 273	臨床心理学	2	(2-0)	2	4	さまざまな保健医療場面における対象者の心理学的理解と、心理アセスメント・心理療法を学ぶ。
	選	選	保Q 275	分子生物学入門	1	(1-0)	2	4	遺伝子診断技術学に必要な分子生物学の基礎について学ぶ。
	選	選	保Q 276	公衆衛生看護学概論	2	(2-0)	2	4	公衆衛生看護活動の概要を学び、地域を基盤とした予防の考え方を学ぶ。顕在化した健康課題を抱える対象者のみでなく、潜在化した健康課題を抱える対象者への支援方法について対象別に学ぶ。

別表2

保健学科 専門教育科目の履修内容

必修・ 選択の別	科 番	目 号	授 業 科 目 名	単 位	週 時 間	受 講 年 次	ク ォ ー タ ー	授 業 内 容
選	選	保 Q 277	遺伝看護学	1	(1-0)	2	2	遺伝医療（遺伝性疾患や遺伝学的検査、遺伝カウンセリングの実際等）に関する基礎的知識を学ぶとともに、周産期や小児、難病、がん等の領域における事例検討や討議を通して、遺伝的課題を有する人への必要なケアについて学ぶ。
選	選	保 Q 278	島嶼地域看護論	1	(1-0)	2	4	島嶼地域の特性を理解し、看護の役割や保健活動について学ぶ。
必		保 Q 302	母性看護実践学	2	(2-0)	3	1	ヒューマン・セクシャリティ、リプロダクティブ・ヘルス／ライツを尊重し、特に周産期の女性や家族に対する看護援助の知識・実践技術を学ぶ。
必		保 Q 303	緩和ケア論	1	(1-0)	3	1	患者をトータルペインの視点で捉え、症状の緩和とQOLの改善にむけての援助を提供するための基本的知識を学ぶ。また、終末期における看護について学ぶとともに死をめぐる倫理的課題やチーム医療についても理解を深め、看護の役割について考える。
必		保 Q 304	看護システムと国際看護	1	(1-0)	3	1	チーム医療および国際協力に対応できるように、メンバーシップ、リーダーシップ、看護マネジメント、医療安全管理、災害看護、諸外国との協働について学ぶ。
必		保 Q 305	高齢期看護実践学	2	(2-0)	3	2	高齢期にある対象の特徴を踏まえ、老化や健康障害に応じた援助方法について、生活機能・QOL及び倫理的な観点から学ぶ。
必		保 Q 306	在宅看護実践学	2	(2-0)	3	3	在宅療養者や家族のライフサイクル、健康課題、生活障害に応じた看護展開について学ぶ。
必	選	保 Q 307	在宅看護学	2	(2-0)	3	2	在宅で療養する人（在宅療養者）や家族の看護展開に必要な看護技術、社会資源の活用方法、他機関との連携やマネジメントなど、在宅ケアにおける看護者の役割及び機能について学ぶ。
選		保 Q 311	公衆衛生看護実践学 I	2	(2-0)	3	1	公衆衛生看護の対象となる人々や健康課題の特徴について学ぶ。個人や家族を単位とした生活と健康を多角的・継続的にアセスメントする方法や健康課題を解決・改善する方法について学ぶ。
選		保 Q 312	助産の理論	2	(2-0)	3	1	周産期における母子の健康や女性の生涯を通じた健康づくりに焦点をあて、どの時期においても最適な援助ができるよう、助産師が身につけるべき助産の基礎理論を学ぶ。
選		保 Q 314	ウイメンズヘルス	2	(2-0)	2	4	女性の生涯を通じた性・生殖に関する健康問題への援助を学ぶ。
選		保 Q 315	養護概説	2	(2-0)	3	1	養護教諭の存在意義と職務の概要ならびに職務を遂行するための基本的な知識及び方法を学ぶ。
選		保 Q 317	健康教育学	2	(2-0)	3	2	健康教育における理論と方法を学び、行動変容にかかわる実践力を高める。
選		保 Q 318	助産診断・技術学 I	3	(3-0)	3	2	周産期医療の現場や少子化社会のニーズへの対応、出産や女性の健康に関わるための助産診断技術の基礎的知識を学習する。周産期メンタルヘルスやハイリスク妊産婦支援のための知識と技術について学ぶ。
選		保 Q 319	ヘルスカウンセリング論	2	(2-0)	3	3	心身相関についての理解を前提に、カウンセリングの理論および基本的技法をふまえて、学校で行われる健康相談―特に養護教諭による健康相談の特徴と進め方および関係者との連携について、適宜演習を交えて解説する。
	必	保 Q 320	臨床免疫学	3	(2-3)	3	1	病態の成立機序を免疫学的側面により学習する。
選	必	保 Q 321	臨床生理学 I	2	(1-3)	3	1・2	心電図検査、呼吸心機能検査、超音波検査などの臨床生理検査について、その原理と検査の実際について学習する。

別表2  
保健学科 専門教育科目の履修内容

必修・ 選択 の別	科 番	目 号	授 業 科 目 名	単 位	週 時 間	受 講 年 次	クォーター	授 業 内 容	
									看
必	保 Q	322	臨床病態学総論	1	(1-0)	3	2	様々な疾病について臓器別・機能別に分類して捉え、病因・病態、診断と主な治療法について系統的に理解できることを目的として講義する。内容は序論に始まり12の臓器別・機能別疾患群からなり、各疾患群の臨床病理の基本を把握できるようになっている。	
	必	保 Q	323	病理組織細胞学	3	(2-3)	3	1	病理組織学、細胞診断学及び病理標本、細胞標本の作製に必要な知識と技術を講義と実習を通じて学ぶ。
	必	保 Q	325	臨床微生物学	3	(2-3)	3	1	疾病に関連する細菌、ウイルス、真菌などの疾病発症に至る機構、病原性の発揮、薬剤抵抗性機構及びこれら病原微生物の検査法について学ぶ。
	必	保 Q	326	技術卒業研究 I	2	(0-6)	3	1・2	保健諸分野の研究手法論、実験計画法、調査法などを学習する。
	必	保 Q	327	臨床化学Ⅱ	2	(2-0)	3	2	様々な生体内物質の質的・量的変動を通して病態診断や疾病に関して、臨床生化学検査の側面から学習する。血清などの検体中生化学成分検査の臨床的意義と診断への応用、臨床現場における自動化学分析法や精度管理、放射性同位元素を用いた検査に関連する安全管理及び法令についても学習する。
	必	保 Q	328	臨床生理学Ⅱ	3	(3-0)	3	2	画像診断や感覚機能検査を中心として生理機能検査とその臨床的意義について学習する。
	必	保 Q	329	遺伝子診断技術学	2	(1-2)	3	2	分子生物学的手法を用いた各分野の臨床検査について学習する。
選	選	保 Q	331	感染看護学	1	(1-0)	3・4	1又は2	医療・保健・福祉などの施設、在宅、地域の場における個人及び集団の特徴を把握して、感染予防、感染症からの治療・回復の促進、感染防止そして医療安全のための看護の役割について学ぶ。
選	選	保 Q	332	がん看護論	1	(1-0)	3	2	がんに関する基礎的知識を習得し、がん患者・家族に対する援助方法について学習する。
必	選	保 Q	333	救急・災害援助	1	(1-0)	3	1	救急法の実際を体験し理論を習得し、災害援助の哲学と実際を学ぶ。
選	選	保 Q	334	周産期学	2	(2-0)	3	1	妊婦・産婦・褥婦管理に必要な症候・病態を学ぶ。
選	選	保 Q	335	学校保健学	2	(2-0)	3	2	学校における保健管理や保健教育のあり方について学ぶ。
	必	保 Q	336	保健技術学実習Ⅰ	1	(0-3)	3	2	臨床実習に必要な知識、技能や態度を備えているか確認し、必要な指導を行う。
必		保 Q	341	小児看護実践学	2	(2-0)	3	3	小児の健康の維持・増進・回復及びQOLの向上に必要な看護の理論と技術について学ぶ。
必		保 Q	342	慢性期看護実践学	2	(2-0)	3	3	成人教育の基礎理論を土台として、疾病に関する知識（病態生理、治療法など）、疾病や症状に伴う身体的、心理社会的問題の理解と患者・家族の個性を加味した生活援助及び看護援助方法について学ぶ。
必		保 Q	343	精神看護実践学	2	(2-0)	3	3	精神の健康問題をもつ対象者の看護援助方法について学習する。
必		保 Q	344	急性期看護実践学	2	(2-0)	3	3	周術期・急性期にある患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、生命維持と症状緩和、回復過程の促進、安全・安楽の保持、生活の再構築に向けた看護の役割、援助方法を学ぶ。
必		保 Q	345	卒業研究Ⅰ	1	(0-3)	3	3・4	保健・看護諸分野の研究の基礎（含む研究倫理）、研究方法論、実験計画法、調査法などを学習する。

別表2  
保健学科 専門教育科目の履修内容

必修・ 選択 の別	科 番	目 号	授 業 科 目 名	単 位	週 時 間	受 講 年 次	クォーター	授 業 内 容	
									看
必	保 Q	346	高齢期看護実習Ⅱ	2	(0-6)	3	4	療養している高齢者を包括的及び生活機能の視点からアセスメントし、高齢者の健康レベルに応じた看護援助の実践について学ぶ。	
必	保 Q	347	母性看護実習	2	(0-6)	3	4	母性看護の知識と技術を臨地実習の場を通して統合し、実践力を高める。	
必	保 Q	348	在宅看護実習	2	(0-6)	3	4	訪問看護ステーションにおいて、疾病や障害を持つ療養者、終末期にある対象・家族への在宅看護活動に同行し、看護技術の提供、環境整備、療養生活の維持・向上にむけた他機関との連携、ケアマネジャーとの協働を体験する。また、受持ち事例をアセスメントし、課題検討や看護計画立案、評価、修正を通して実践力を養う。	
選	保 Q	351	公衆衛生看護実践学Ⅱ	2	(2-0)	3	3	地域の生活集団、グループ、地域組織を対象とした健康保持増進のための公衆衛生看護活動を学ぶ。	
選	保 Q	352	助産診断・技術学Ⅱ	3	(3-0)	3	3	妊娠・分娩・産褥・新生児各期の経過診断及び健康生活にかかわる診断について学ぶ。	
選	保 Q	353	助産管理	1	(1-0)	3	2	助産管理の概念と助産業務および管理運営について学ぶ。また、助産業務に関する法律、災害、リスク・マネジメントと助産師活動について学び、助産師の社会的責務について理解する。	
選	保 Q	354	地域母子保健	1	(1-0)	3	3	日本および諸外国における地域の母子保健に関連する保健制度や施策について学ぶ。産後うつ・育児不安・子どもの虐待など、地域における子育て世代をめぐる問題と支援方法について学ぶ。	
	必	保 Q	362	技術卒業研究Ⅱ	2	(0-6)	3	4	保健諸分野の研究方法論、実験計画法、調査法などを学習する。
	必	保 Q	363	保健技術学実習Ⅱ	11	(0-33)	3	3・4	臨床検査に関する実務を学内外の病院において習得する。
選	選	保 Q	371	看護英語文献講読	1	(1-0)	1-4	3	医療、健康問題、ケア（看護）に関する文献の講読を通して、英語に慣れ親しみ、国際雑誌や英文で書かれた記事などを読解するために必要な基礎力を習得する。
選	必	保 Q	373	病理特殊検査法	2	(2-0)	3	4	特殊染色、免疫組織染色の理論、電子顕微鏡の理論とその応用について講義する。
選	必	保 Q	374	画像診断学	2	(2-0)	3	4	各種の画像検査法の特性及び臓器別に特徴的な疾患の診断について学習する。
	必	保 Q	401	技術卒業研究Ⅲ	4	(0-12)	4	1~4	保健諸分野における調査、実験研究を行い、研究論文の作成ならびに研究発表を行う。
選	必	保 Q	403	総合検査学Ⅱ	2	(2-0)	4	2	医療機関等における臨床検査業務や各種管理、精度管理、検体取扱いなどを習得し、職業倫理について学習する。また臨床検査各分野における最新検査法や話題の疾患について演習を行い理解する。
選	選	保 Q	404	遺伝子診断応用学	1	(1-0)	4	2	大学病院の検査部で行われている遺伝子検査および医学部の研究室で行われている最先端の遺伝子に関する研究について概説する。ヒト遺伝子の構造、機能解析により得られた情報が病気の発生機構の解明やそれに基づく診断、治療にも大きな進展をもたらしている。この講義においては、琉球大学病院検査・輸血部で行われている遺伝子検査および医学部で行われている最先端の遺伝子研究について理解し、臨床検査への応用力を習得する。
必	保 Q	412	小児看護実習	2	(0-6)	4	1・2	健康に問題のある小児に看護を実践し、小児の健康回復・維持・予防及びQOLの向上に必要な小児看護技術、社会資源、小児病棟管理等について学ぶ。	

別表2

保健学科 専門教育科目の履修内容

必修・ 選択の別	科 番	目 号	授 業 科 目 名	単 位	週 時 間	受 講 年 次	クォーター	授 業 内 容
必	保Q	413	慢性期看護実習	2	(0-6)	4	1・2	慢性的な健康障害を有する人(対象)およびその家族を包括的に捉え、疾患や障害とともに生きる体験や生活への影響を理解し、看護上の課題解決やセルフケアを伴う社会生活を支援するための看護実践能力を養う。
必	保Q	414	精神看護実習	2	(0-6)	4	1・2	精神の健康問題をもつ対象者の看護援助の実際について学習する。
必	保Q	415	急性期看護実習	2	(0-6)	4	1・2	急性期や重篤な状態、周術期にある人(対象)およびその家族を包括的に捉え、生命維持、身体的リスクの低減と症状緩和、安全・安楽の保持、生活機能の回復、生活の再構築に向けた看護実践能力を養う。
必	保Q	416	成人総合看護実習	1	(0-3)	4	1・2	対象に必要な看護をマネジメントする「看護管理」、および安全なケア・医療を提供する「医療安全・リスクマネジメント」の実際を学ぶ。
選	保Q	422	公衆衛生看護実習Ⅰ	4	(0-12)	4	前期 (集中)	公衆衛生看護学で学んだ理論や方法を、地域住民の生活場において体験し、公衆衛生看護活動の実践に必要な知識、技術、態度を習得する。
選	保Q	423	助産実習Ⅰ	2	(0-6)	4	前期 (集中)	病院実習を通して、妊娠期の助産ケアに必要な基礎知識・技術を習得する。助産実習を通して分娩期の基本的な診断技術を学ぶ。
選	保Q	424	養護実践演習	1	(1-0)	4	前期 (集中)	養護教諭としての専門的知識と技術の習得をより効果的にすすめるために、養護実習に即して事前指導・中間報告会ならびに事後指導を行う。
選	保Q	425	養護実習	4	4週間	4	前期 (集中)	教育活動全般ならびに学校保健活動(保健管理・保健教育・組織活動)の展開を実際に体験し、養護教諭として学校保健活動を推進していく実践的能力を培う。
選	保Q	426	助産診断・技術学Ⅲ	4	(4-0)	4	前期 (集中)	助産診断に基づく基礎技術と分娩助産技術・相談技術について学ぶ。地域における子育て世代を包括的に支援する技術を学ぶ。
必	保Q	431	卒業研究Ⅱ	2	(0-6)	4	1~4	研究計画書に沿って研究を行い研究論文の作成ならびに発表を行う。
必	保Q	432	看護統合実習	2	(0-6)	4	3	各領域実習を終えた学生がさらに関心を深めたい領域(基礎・成人・老年・在宅・小児・母性・精神)の中から、自己の課題目標を主体的に設定し、その課題を達成するための実習を行い、総合的な看護実践能力を養う。
選	保Q	442	公衆衛生看護実習Ⅱ	1	(0-3)	4	3	地域で暮らす人びとの健康課題の把握および解決方法を習得する。
選	保Q	444	助産統合実習	1	(0-3)	4	4	周産期のハイリスク母子管理の立場から、低出生体重児の看護管理及び産科病棟における業務管理の実際を学ぶ。低出生体重児のケアをとおし、正常妊娠および分娩、産褥経過の重要性と助産師の果たす予防的役割を考察する。
選	保Q	445	教職実践演習(養護教諭)	2	(2-0)	4	3・4	各自の履修カルテをふまえ、実技指導、グループ討論及び補充指導等を通して、養護教諭として必要な知識技能を修得したことを確認する。
選	保Q	446	公衆衛生看護管理Ⅰ	1	(1-0)	4	1	公衆衛生看護管理に必要な政策形成過程について学ぶ。
選	保Q	447	公衆衛生看護管理Ⅱ	1	(1-0)	4	3	公衆衛生看護管理の展開について学ぶ。さらに、保健師としての専門的自立と人材育成について学ぶ。
選	保Q	448	助産実習Ⅱ	6	(0-18)	4	3・4	助産師として実践に必要な診断技術や分娩助産技術・保健指導技術を習得する。



別表4  
保健学科卒業要件

	授業科目区分		看護学コース		検査技術学コース	
			必修		必修	選択必修
共通教育等科目	教養領域	健康運動系科目	2単位		2単位	
		人文系科目 *注1	4単位		2単位	} 2単位
		社会系科目 *注2	4単位		2単位	
		自然系科目	4単位 ・ヒトの健康科学(2単位)を含む		4単位 ・ヒトの健康科学(2単位)を含む	
	総合領域	総合科目 *注3			2単位	
		琉大特色・地域創生科目	2単位			
		キャリア関係科目				
	基幹領域	情報関係科目	2単位 ・情報科学演習(2単位)を含む		2単位 ・情報科学演習(2単位)を含む	
		外国語科目	8単位 ・英語(8単位)、又は英語(4単位)と他の一つの外国語(4単位)		8単位 ・英語(8単位)、又は英語(4単位)と他の一つの外国語(4単位)	
		専門基礎教育			1単位 ・化学実験	2単位 *注4 ・化学Ⅰ ・化学入門Ⅱ ・生物学Ⅱ ・物理学Ⅱ ・物理学入門Ⅱ
小計		26単位以上		27単位以上		

	授業科目区分		看護学コース		検査技術学コース	
			必修	選択	必修	選択
専門教育科目	保健学科共通必修基礎科目		22単位		22単位 *注5	
	専門科目	基礎領域	25単位	11単位以上	75単位 *注5	2単位以上
		実践領域	36単位			
		展開領域	6単位			
小計		100単位以上		99単位以上		
卒業要件		共通教育等 + 専門教育 = 126単位以上				

- \*注1 看護学コース学生は、共通教育「人文系科目」の「人間関係論」を履修することが望ましい。
- \*注2 看護学コースの養護教諭一種免許取得を希望するもの、および保健師免許取得によって卒業後に養護教諭二種免許の申請を希望するものは、共通教育「社会系科目」の「憲法概論」を履修する。
- \*注3 検査技術学コースの共通教育「総合科目」2単位は、「動物実験の基礎」、「生命科学入門」から履修することが望ましい。
- \*注4 検査技術学コースの「専門基礎教育」選択必修2単位は、化学、生物、物理の中から高校で履修していない科目を履修すること。また、2科目以上履修することが望ましい。
- \*注5 検査技術学コースにおいて保健技術学実習Ⅱおよび技術卒業研究Ⅱ・Ⅲを履修するには、下記条件を全て満たさなければならない。
- 条件1：保健技術学実習Ⅱ、技術卒業研究Ⅱ・Ⅲ、食品衛生学、画像診断学、病理特殊検査法、総合検査学Ⅱ(計25単位)を除く3年前学期までの専門教育必修科目72単位を修得していること。
- 条件2：共通教育等科目と専門選択科目を合わせた今後履修すべき科目の単位数が6単位以下であること。
- ◎ 専門教育科目の授業時間・内容等については、「保健学科履修要綱」及び「琉球大学 Syllabus Web」参照すること。
- ◎ 看護学コースの保健師あるいは助産師免許取得を希望するものは、「保健学科履修要綱」に基づき各免許指定科目を履修する。
- ◎ 看護学コースの養護教諭一種免許取得を希望するものは、「保健学科履修要綱」及び「教員免許取得の手引き」に基づき履修する。また、学期毎に「教職履修カルテ」の記入をする。